

平成29年度 市民部の運営方針

部名	市民部
部長名	脇田 直行

(作成日) 平成 29 年 7 月 3 日

【部の基本方針(政策目標)】

市民部は、戸籍や住民基本台帳や国民健康保険、人権、環境などを所管する市民生活に関わりが深い部署です。

まず、市民課では市民の方々に寄り添った親切かつ丁寧な対応を基本に迅速で質の高い窓口業務を提供することにより、市民満足度の向上に努めます。

次に、国民健康保険事業においては、市民の健康に関する意識を高めるとともに保健事業の充実に努め、健康な家庭を築いていただくことで、医療費の抑制を実現し、国保財政の健全化を目指します。

人権施策としましては、人権が常に尊重される地域社会の実現に向け、部落差別やヘイトスピーチの解消などへの啓発や相談体制の充実に取組みます。

環境施策ではごみの減量化を進めるとともに、地域のリサイクル活動を支援します。また、関係機関と連携し河川の水質改善に努めます。

【重点課題】

1	窓口業務の充実
2	部落差別解消に向けてのさらなる啓発の推進
3	保健事業の充実を図ることで医療費を抑制するとともに、各種補助金の獲得に努めます。
4	安心して暮らせる生活環境の形成【ごみの分別、減量及びリサイクルの推進】
5	安心して暮らせる生活環境の形成【河川の維持管理】

【重点課題1】

窓口業務の充実

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

市民にわかりやすい説明と、丁寧な対応により窓口サービスを充実します。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① 職員の自己啓発を促すため研修等を行い、個々のスキルアップを図ります。

イ 達成目標

① 市民の窓口サービスへの満足度を高めます。

【重点課題2】

部落差別解消に向けてのさらなる啓発の推進

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

部落差別解消法の施行に伴う啓発活動及び相談事業の充実を図ります。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① 広報、市ウェブサイト及び市内公共施設等を活用した啓発活動に加え、柏原市人権協会などの関係機関と連携した啓発活動のさらなる充実を図ります。また、相談窓口担当者連絡会議を活用した相談体制の充実を図ります。

イ 達成目標

① 市民意識調査の「人権教育」の満足度を前回数値より高めます。

【重点課題3】

保健事業の充実を図ることで医療費を抑制するとともに、各種補助金の獲得に努めます。

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

特定健診と人間ドックの受診率の向上を図り、国や府の補助金の継続獲得及び増額に努めます。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① 特定健診受診率50%、人間ドック受診者数1,000人を目標に、予防医療の活性化を図ります。

② 国及び大阪府の財政調整交付金の継続獲得及びさらなる増額交付に努めます。

イ 達成目標

① 医療費の支出額を、前年度額より、2%(1億2千万円)抑制します。

② 単年度収支の黒字額を、1億4千万円とします。

【重点課題4】

安心して暮らせる生活環境の形成【ごみの分別、減量及びリサイクルの推進】

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

ごみの分別、減量及びリサイクルをより一層推進することにより、循環型社会の構築を目指します。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① 啓発活動を一体的に実施する環境フェアや子供服や陶磁器等のリユースフェアを実施します。また、町会や子供会などによる新聞紙等の集団回収事業を拡大します。

イ 達成目標

① 市民意識調査の「資源の循環利用」、「地球温暖化防止」の満足度を前回数値より高めます。

【重点課題5】

安心して暮らせる生活環境の形成【河川の維持管理】

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

河川(恩智川)を市民協働で継続的に清掃等を行うことにより、河川の維持管理に努めます。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

- | | |
|---|--|
| ① | 恩智川の流域住民の環境美化の意識をさらに向上するため、恩智川ワークショップを開催します。 |
| ② | 定期的に恩智川の河川水質を調査し、また、年1回流域住民とともに清掃を実施します。 |

イ 達成目標

- | | |
|---|---------------------------------|
| ① | 市民意識調査の「環境保全活動」の満足度を前回数値より高めます。 |
| ② | 恩智川の水質を向上させます。 |